

2018春季生活闘争

J R 連 合 F A X ニ ュ ー ス N o . 5 4

2018年3月13日

日本鉄道労働組合連合会

J R 九州高速船(株) 第1回団体交渉

ベアに徹底してこだわる姿勢を表明

J R 九州労組は3月13日、2月26日にJ R 九州高速船(株)へ申し入れた「2018年度新賃金等の要求」及び「2018年度夏季手当の要求」に対する第1回団体交渉を行い、組合から要求の趣旨説明を行った。

交渉で組合は、「人口減少や少子高齢化等、上場後の経営環境が厳しさを増す中、J R 九州グループで働くすべての労働者が一丸となって、企業業績の向上に取り組む必要がある」との認識を示したうえで、J R 九州高速船(株)で働く労働者の「底上げ・底支え」を図るべく、今春闘においてもベースアップの実施や夏季手当の支払月数に徹底的にこだわる姿勢を表明した。

J R 九州高速船(株)の経営状況は、対馬航路が好調に推移し、韓国人乗船客も増加傾向にあるものの、日本人乗船客は減少しており、苦戦を強いられている。しかしながら、2020年7月に新型高速船の就航を予定している他、厳しい経営環境の中、安全・安定運航の確保や経費節減等に懸命に取り組む組合員の労苦に報いるため、J R 九州労組は今後、関係支部・分会と連携を図り、団体交渉を強化することとしている。